



# 是非覚えておきたい 「救急車」を呼ぶ時の 注意事項！

そんなことがないのが一番ですが、思いがけない急病やケガなどで、救急車を呼ぶようなことが起こらないとも限りません。そんなときのためにぜひ心がけておきたいことを、入間東部地区消防本部の担当の方から取材しました。

今回は、お一人暮らしのあなた自身が、自宅から救急車を呼ぶようなケースを想定しています。

## ●局番なしの「119」に電話

まずは冷静になることが肝心。落ち着いて、ゆっくり、はつきりと通報します。消防の担当者が以下のように聞いてきますので誘導に



従って下さい。

①「火事ですか？ 救急ですか？ と聞かれたら、「救急です！」と答えます。

②「その場所はどこですか？」  
「三芳町上富〇〇番〇〇です」

と正確な住所を伝えること。アパート、マンションなどの場合は、〇号室や〇階にある部屋かも伝え、近くに目印になる建物やお店などがあればそれも知らせる。

③「どんな状況ですか？」

「激しい腹痛がする」「吐き気、嘔吐がとまらない」「胸痛がする」「大量の吐血や下血がある」「ケガをして出血がひどい」「広範囲なやけどをした」等々、できるだけ具体的に詳しく状態を伝える。

④「あなたの名前と電話番号を教えてください」

この場合は、通報者本人が当事者で、名前は〇〇〇〇、かけているのが自宅の番号からであること

を伝える。加えて年齢も。

※電話は家庭の固定電話からがベストとのこと。携帯電話も「市外局番なしの119」でよいのですが、電波状態不良などで途切れたり、場所の判断に時間がかかったりすることがあるそうです。

## ●用意しておく便利なもの

救急車を呼ぶような事態は突発的なことです。あわてふためいたり、パニック状態になったりが普通でしょう。そこでふだんからそんな時に備えて、救急車が来るまでに以下のようなものを用意して、いざという時すぐに持ち出せるようにしておくことをお勧めします。

◆保険証、病院の診察券

◆ふだん飲んでいる薬、お薬手帳

◆ハンカチ、タオル、ティッシュ

◆小銭も含めたお金

◆履きやすい靴

また、電話のそばに通報の時に聞かれる項目（住所・電話番号・近隣の目印・伝える状態など）を記入したメモなどを貼っておくと役に立ちます。

## ●迷った時は「#7119」に

救急車を呼んだ方がいいか、まずはすぐ病院に行った方がいいか、

迷った時は「救急相談センター」の電話番号（#7119）をプッシュして相談して下さい。ここは24時間、年中無休で対応し、適切なアドバイスをしてくれます。

現在、入間東部

地区消防本部は、救急車7台で対応しています。管轄

地区内であれば、平均7〜8分で現

場に到着できるそうです

ですが、救急車要請の件数が年々増加しているため、混みあった時は到着時刻が遅れることもあります。

緊急性のない軽いケガや病気、あるいは通院や入退院のためタクシー代わりに救急車を利用するのはやめましょう。しかし、病気やケガの状況から、一刻でも早く病院に行った方がいいと思った時には、迷わず「119」番通報をして下さい。

※今月もサロン、会食会はお休みです。今しばらくお待ちください

